

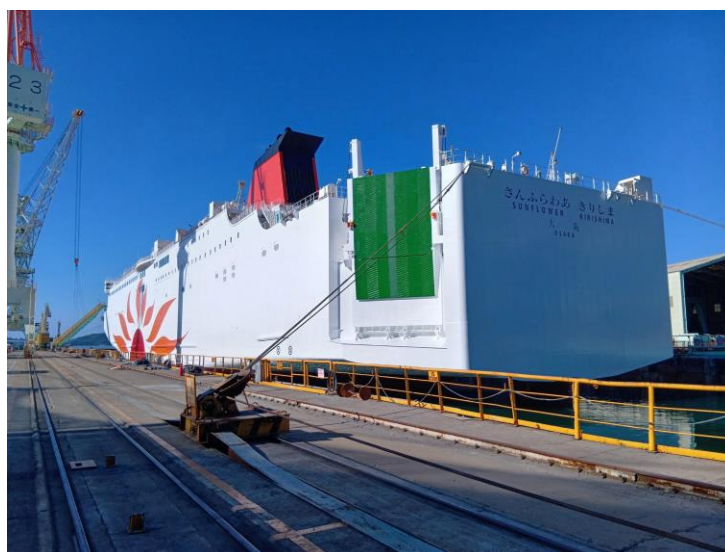
2026 年 8 月 31 日

株式会社商船三井さんふらわあ

兼 松 ペ ト ロ 株 式 会 社

## 商船三井さんふらわあと兼松ペトロ、 長距離フェリーで FAME 混合燃料の運航トライアルを実施

～「さんふらわあ きりしま」で主機・発電機・ボイラーへの適用性を検証～



写真：トライアルを実施した「さんふらわあ きりしま」

株式会社商船三井さんふらわあ（以下「商船三井さんふらわあ」）と兼松株式会社のグループ会社である兼松ペトロ株式会社（以下「兼松ペトロ」）は、2026 年 7 月、大阪～志布志（鹿児島）航路に就航する長距離フェリー「さんふらわあ きりしま」のドック後の回航航海において、A 重油にバイオディーゼル燃料（FAME：Fatty Acid Methyl Ester）を 5% 混合した「B5A 重油」を使用した運航トライアルを実施しました。

本トライアルでは、主機、発電機およびボイラーを対象に、係留運転から海上運転に至る各段階で運転状況を確認し、FAME 混合燃料の適用性を検証しました。

今回使用した FAME は、三和エナジー株式会社が供給する、国内の使用済み食用油（廃食油）を原料としています。同製品は、一般社団法人リーゼル協会が定める高純度バイオディーゼル燃料規格に適合しており、国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）にも登録されています。



写真：機関室におけるトライアル確認の様子

トライアル期間中は、主機、発電機およびボイラーのいずれにおいても安定した運転が確認され、FAME 混合燃料の使用に起因すると考えられる重大な不具合や運航への影響は認められませんでした。これにより、長距離フェリーの実運航環境における FAME 混合燃料の適用可能性を確認するとともに、今後の低炭素燃料の活用拡大や脱炭素化推進に資する有益な知見を得ました。

海運業界では脱炭素化への取り組みが加速する中、商船三井さんふらわあと兼松ペトロは、低炭素燃料の活用を通じて既存船舶から排出される温室効果ガスの削減を進めています。本トライアルは、低炭素燃料の実用化に向けた検証の一環として実施したものです。なお、兼松ペトロは、EU 再生可能エネルギー指令（RED II を改正した RED III）に対応する持続可能性認証制度「ISCC EU 認証」を取得しており、今後も国内外における多様な低炭素燃料の調達・供給を通じて、海運業界の脱炭素化を支援して参ります。

商船三井さんふらわあと兼松ペトロは、今回のトライアルで得られた知見を活かし、船舶分野における低炭素燃料の活用拡大を図るとともに、関係各社との連携を通じ、海運業界の脱炭素化と持続可能な社会の実現に貢献して参ります。